

# 地下街等における携帯端末向けマルチメディア放送 の効率的な送信システムに関する調査検討報告 ～ 検討結果要約 ～

VHF-High帯マルチメディア放送は、移動受信を主な受信形態としていることから、地下街等の閉鎖空間での災害時等における情報通信メディアとして有効である。

平成24年度に「地下街等における携帯端末向けマルチメディア放送の効率的な送信システムに関する調査検討」を大規模な地下街を有する札幌において実施し、主に次のとおりの成果が得られた。

- 地下街におけるVHF-High帯の電波伝搬は、自由空間に比し大きな伝搬損失があり、電界強度シミュレーションが難しい。
- 本実証試験フィールド(さっぽろ地下街)における電波伝搬データを参考として、各地の地下街の設計にあたって、地下街形状及び環境にあわせて電界変動マージン等を考慮して電波伝搬距離を設計することが可能と思慮。
- SFN混信及び地下街電波と地上波との干渉は、混信となる技術的条件に至らなければ混信等の支障がない。
- 「小型な再送信システム」により、地下街の喫茶店の奥など狭小なエリアの受信改善が可能。

# 地下街での利用イメージ

